

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 11 月 29 日

アンケート期間:令和 5 年 10 月 20 日～令和 5 年 11 月 20 日

事業所名 ルシェル 横根

保護者等数(児童数) 11(11) 回収数 10 割合 90.9 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1				人員基準を守り、活動等のスペースが確保できるように対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10					支援は資格を持った職員が行っております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		2		活動の流れを視覚的に支援している他、教室内を構造化し負担なく行動できるようにしております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	10					目標に合わせて計画の作成を行っております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10					偏ることなく様々なイベントを考案している。また、全領域にわたって支援を行えるようにプログラム内容を工夫しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	2	2		交流を持っておりません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					契約時に丁寧な説明を心掛けております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10					送迎時に時間を設けております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10					送迎時にお話をするほか、面談時間を設け、保護者様からの質問や疑問にお答えをしております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	4	1	必要とは思わない。	保護者様同士がつながりを持てるような場を検討しております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		3	苦情がない。	苦情に対する体制については整備を行っており、契約時に丁寧に説明を行っております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					連絡帳を使用し情報の伝達を図るほか、送迎時に口頭でもお伝えしております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8			2		連絡帳にて活動記録や療育内容、必要な情報を配信している。またホームページで自己評価結果を発信している。
14 個人情報に十分注意しているか	10					個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報が含まれるものに関しては鍵付きの書庫に保管している。また、個人情報の取り扱いについて職員に徹底しております。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9			1	各種マニュアルは作成しており年に2回訓練を計画しております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			2	定期的に災害や地震についての、避難訓練を行ったり、避難場所や防犯面の確認を、お子様やスタッフを含めて、訓練を実施しております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1			全てのお子様楽しく通っていただけるような事業所となるよう努力してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	10				今後もお子様、保護者様から信頼し支持される事業所となるよう努力してまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 11 月 22 日

公表:令和 5 年 11 月 29 日

事業所名 ルシエル 横根

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を厳守し、スペースの確保をしております。	
	2	職員の配置数は適切である	○		お子様が安心して過ごしていただけるよう、人員数を配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		活動の流れを視覚的に支援している他、教室内を構造化し負担なく行動できるようにしております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の振り返り、朝のミーティング等で共有しております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		現在、ホームページにて掲載しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		支援内容や特性理解のための研修を行っている他、自己研鑽のための研修も行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用者様や保護者様への聞き取りは必ず行い、発達段階を踏まえたうえで、それぞれの特性に合わせ計画を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、職員間でイベント案を出し合い、ご利用者様が楽しく活動することができ学んでいけるようなイベントを取り入れております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		偏ることなく様々なイベントを考案している。また、全領域にわたって支援を行えるようにプログラム内容を工夫しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休業中は制作時間のかかる絵画で表現活動を楽しむ他、自分自身で選択し学んでいく探求活動を通し、自己決定感や自己効力感を持てるよう支援しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者が中心となり、定期的に活動の様子や成長等をスタッフ間で話し合い、お子様の支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に活動内容共有を行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了時に様子や活動内容を報告し、共有しております。	送迎業務などで時間を作れない事もあります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳に活動内容や様子を記録している。また、活動内容を振り返り、出てきた課題について検証を行い改善策の検討を行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		職員と児発管で支援内容の検討及び見えてきた課題について常に協議を行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		それぞれのお子様に対し、様々な面から基本活動を組み合わせ、支援を行っております。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		適時おこなっている。また、保護者様を通じて、お便り等で情報を共有しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアの必要なお子様の受け入れをしておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前の情報は主に相談支援員さんより情報を得ております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		該当する利用者おりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携を行うとともに、必要に応じて助言を受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流を持っておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		自立支援協議会への参加はほとんど行っていない。今後参加できるようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に時間を設けております。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペアレントトレーニングといったしっかりとしたプログラムは行っていないが、療育内容について情報の共有をご家庭と行えるようにしております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明を心掛けております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時の他、必要に応じ相談の機会を持ち助言を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、保護者会は設置しておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情に対する体制については整備を行っており、契約時に丁寧に説明を行っております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定はカレンダーで伝えております。活動はSNSを通じて行っております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報が含まれるものに関しては鍵付きの書庫に保管している。また、個人情報の取り扱いについて職員に徹底しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を使用し情報の伝達を図るほか、送迎時に口頭でもお伝えしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域との交流は行っておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルは作成しており年に2回訓練を計画しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に災害や地震についての、避難訓練を行ったり、避難場所や防犯面の確認を、お子様やスタッフを含めて、訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全職員が虐待について外部研修・社内研修を行い、日頃から虐待防止の適切な対応をしております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		職員間で身体拘束を行う際の基準を共有している。また、計画に記載し、説明を行っております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者方から聞き取り行っていますが、医師指示書もらっていません。今後、必要であれば提出して頂きます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録用紙を設置しております。	ヒヤリハット案件が発生した場合は職員間ですぐに情報共有を行い問題点、改善点を検討していきます。